



学ぶ 伸びる 育つ 中央っ子の2

たくましく
かこく
たくましく

第4号
令和6年6月13日
中央小学校
文責 上原

主体的な学び

荒尾市では、荒尾の教育の礎として、学習指導要領の趣旨に則った「あらおベーシック」を提唱し、子ども主体の学びの充実発展をめざしています。

それを受け、本校では「一人一人が主体的に学び、活躍できる子ども」の育成」をテーマに、全職員で授業改善に向けた、研究・実践を重ねています。

確かな学力を身に付けることは、子どもの可能性を引き出し、自らの未来を拓くためにも大切なことです。学校では、「子どもが課題解決の見通しを持って主体的に学びに向かう授業」



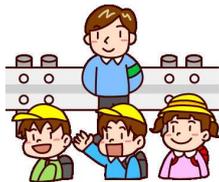
「友だちと学び合うこと」を考えを広げたり、深めたりし、『分かった』『できた』という達成感を感じる授業」をめざし、子どもたちと一緒によりよい授業づくりに取り組んでいきます。ご家庭でも、お子さんの家庭学習の様子など見ていただき、声かけをお願いします。

学校運営協議会

本校は、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会が設置されています。

五月二十八日（火）に第一回の協議会を開催し、本年度の委員委嘱及び会長、副会長の選任、本年度の学校運営の方針・方向性の説明を行い、承認いただきました。

委員さん方からは、学校教育活動への協力、地域学校協働活動への期待などの声が寄せられました。また、課題としては、防犯や子どもたちの見守りを含め、地域における活動等の担い手不足があげられました。



年間に五回の協議会を予定しており、委員さん方と子どもたちが意見交換する機会も計画しています。学校や地域の課題、強みを共有し、よりよい学校づくりや地域との協働などについて話し合っています。

心のきずなを深める月間

熊本県では、六月を「心のきずなを深める月間」といじめを許さない学校・学級づくりを目指して」と定め、いじめの未然防止に向けた総合的な取組を推進しています。

学校では、日々の学習や活動を通じた「仲間づくり」を進め、互いに認め合い、支え合う集団、子どもたちが安心して学び合う環境作りに取り組んでいます。併せて、日常の児童の様子に目を配り、定期的にアンケートも実施して、子ども達が抱えている悩みや不安を解消できるように努めています。

プール楽しみ!

六月七日（金）に、五・六年生の子どもたちがプール掃除をしてくれました。

午前中は、五年生がプール周りや更衣室などを、午後には六年生がプールの中を、タワシ等を使って汚れを落とす作業を行いました。おかげで、プールも見違えるようにきれいになりました。



来週からは、順次各学年の水泳の授業も始まります。安全に気をつけながら、楽しく水に親しんで欲しいと思います。

あらがひでけがりました

五月二十九日（水）に、荒尾支援学校高等部の生徒さんたちが、地域貢献活動の一環として、本校に来てくださいました。

午前十時頃、歩いて来校され、あいさつのあと一年生教室前の花壇や学級園を中心に除草作業をしていただきました。気温もだんだんと高くなってくる時間帯でしたが、落ち葉を集めたり、雑草を抜いたり、二時間近く作業していただいたおかげで、とてもきれいになりました。



途中、理科の授業でジャガイモを収穫する五年生と一緒に、ベランダから一年生の子どもたちが「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えたりする場面もありました。本校では、四年生を中心に、荒尾支援学校の子どもたちとの交流も計画しています。様々な機会を通して、同じ地域にある学校として、お互いに連携し、学び合うことができればと思います。